

運動障害リハビリテーション学分野

A 欧文

A-a

1. Ichinose K, Origuchi T, Kawashiri SY, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Kamachi M, Arima K, Tamai M, Nakamura H, Ida H, Kawakami A, Tsukada T, Ueki Y, Eguchi K: Efficacy and safety of mizoribine by one single dose administration for patients with rheumatoid arthritis. *Intern Med* 49(20): 2211-2218, 2010 (IF:1.040)
2. Kawashiri SY, Kawakami A, Ueki Y, Imazato T, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, Eguchi K: Decrement of serum cartilage oligomeric matrix protein (COMP) in rheumatoid arthritis (RA) patients achieving remission after 6 months of etanercept treatment: comparison with CRP, IgM-RF, MMP-3 and anti-CCP Ab. *Joint Bone Spine* 77(5): 418-420, 2010 (IF:2.250)
3. Saeki T, Nishi S, Imai N, Ito T, Yamazaki H, Kawano M, Yamamoto M, Takahashi H, Matsui S, Nakada S, Origuchi T, Hirabayashi A, Homma N, Tsubata Y, Takata T, Wada Y, Saito A, Fukase S, Ishioka K, Miyazaki K, Masaki Y, Umehara H, Sugai S, Narita I: Clinicopathological characteristics of patients with IgG4-related tubulointerstitial nephritis. *Kidney Int* 78(10): 1016-1023 (IF:6.193)
4. Akazawa S, Ichinose K, Origuchi T, Kawashiri SY, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Kamachi M, Arima K, Tamai M, Nakamura H, Ida H, Kawakami A, Eguchi K: Successful treatment of chronic lupus myocarditis with prednisolone and mizoribine. *Mod Rheumatol* 20(6): 606-610, 2010
5. Haraguchi A, Era A, Yasui J, Ando T, Ueki I, Horie I, Imaizumi M, Usa T, Abe K, Origuchi T, Eguchi K: Putative IgG4-related pituitary disease with hypopituitarism and/or diabetes insipidus accompanied with elevated serum levels of IgG4. *Endocr J* 57(8): 719-725, 2010 (IF:1.806)
6. Iwamoto N, Kawakami A, Arima K, Nakamura H, Kawashiri SY, Tamai M, Kita J, Okada A, Koga T, Kamachi M, Yamasaki S, Ichinose K, Ida H, Origuchi T, Eguchi K: Regulation of disease susceptibility and mononuclear cell infiltration into the labial salivary glands of Sjogren's syndrome by monocyte chemotactic protein-1. *Rheumatology (Oxford)* 49(8):1472-1478, 2010 (IF:4.236)
7. Kawashiri SY, Kawakami A, Fujikawa K, Iwamoto N, Aramaki T, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, Eguchi K: Type B insulin resistance complicated with systemic lupus erythematosus. *Intern Med* 49(5): 487-490, 2010 (IF:1.040)
8. Fujikawa K, Kawakami A, Hayashi T, Iwamoto N, Kawashiri SY, Aramaki T, Ichinose K, Tamai M, Arima K, Kamachi M, Yamasaki S, Nakamura H, Ida H, Origuchi T, Eguchi K: Cutaneous vasculitis induced by TNF inhibitors: a report of three cases. *Mod Rheumatol* 20(1): 86-89, 2010
9. Sakai M, Tsujino A, Eguchi H, Sato K, Shirabe S, Tateishi Y, Sato A, Tsujihata M, Yoshimura T, Eguchi K ; A single-nucleotide polymorphism of PARK2 affects the phenotype in sporadic parkinson disease. *Acta Medica Nagasakiensia* 54(3): 67-71, 2010
10. Nakamura H, Okada A, Kawakami A, Yamasaki S, Ida H, Masuda T, Fukuda T, Satoh K, Yoshimura T, Nakashima M, Hayashi T, Eguchi K ; Rheumatoid vasculitis of crural muscles confirmed by muscle biopsy in the absence of inflammatory myopathy: histologic and MRI study. *Rheumatology international* 30(10): 1381-1383, 2010
11. Satoh K, Nakaoka R, Nishiura Y, Tsujino A, Motomura M, Yoshimura T, Sasaki K, Shigematsu K, Shirabe S, Eguchi K ; Early detection of sporadic CJD by diffusion-weighted MRI before the onset of symptoms. *J Neurol Neurosurg Psychiatry*, 2010 (Epub ahead of print) (IF:4.869)

A-b

1. Origuchi T, Kawashiri S, Yamasaki S, Kawakami A, Eguchi K: The influence of tocilizumab on the neuroimmune pathways modulating the pathogenesis in rheumatoid arthritis. *Ann Rheum Dis*. 69(Suppl3):683, 2010

B 邦文

B-a

1. 沖田 実, 中野治郎, 坂本淳哉, 横山真吾, 近藤康隆, 本田祐一郎, 濱上陽平: 痛みと拘縮 - 骨格筋の変化からみた拘縮の病態 - . *日本運動器疼痛研究会誌* 2: 31-38, 2010
2. 折口智樹, 川尻真也, 岩本直樹, 玉井慎美, 井田弘明, 川上 純, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 松岡直樹, 植木幸孝, 河部庸次郎, 峰 雅宣, 福田孝昭, 江口勝美: インフリキシマブの関節リウマチ患者の炎症所見、活動性と ADL に対する効果. *日本 RA のリハビリ研究会誌* 24(1): 62-64, 2010
3. 川尻真也, 岩本直樹, 中村英樹, 折口智樹, 川上 純, 江口勝美, 植木幸孝, 右田清志, 溝上明成, 荒牧俊幸: TNF 阻害薬治療の既往がある関節リウマチに対するトシリズマブ治療の有効性. *九州リウマチ* 30(2): 66-71, 2010
4. 山崎聡士, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 岩本直樹, 川尻真也, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 江口勝美, 折口智樹: 関節リウマチの生物学的製剤投与中に発症した結核感染 3 症例. *九州リウマチ* 30(1): 43-48, 2010

B-b

1. 坂本淳哉, 片岡英樹, 吉田奈央, 山口紗智, 西川正悟, 村上正寛, 中川勇樹, 鶴殿紀子, 渋谷美帆子, 岩佐恭平, 濱崎 忍, 三村国秀, 山下潤一郎, 中野治郎, 沖田 実: 大腿骨近位部骨折術後の痛みの発生状況に関する実態調査. *理学療法学* 37 Supplement (2) DVD:369, 2010

2. 本田祐一郎, 近藤康隆, 横山真吾, 濱上陽平, 片岡英樹, 坂本淳哉, 中野治郎, 沖田 実: 不動期間の延長に伴うラットヒラメ筋の筋内膜におけるタイプI・III コラーゲンの変化. 理学療法学 37 Supplement (2) DVD: 510, 2010
3. 横山真吾, 本田祐一郎, 近藤康隆, 片岡英樹, 坂本淳哉, 中野治郎, 沖田 実, 吉村俊朗: 関節不動によるラットヒラメ筋のコラーゲンタイプの変化が足関節可動域に与える影響. 理学療法学 37 Supplement (2) DVD: 511, 2010
4. 濱上陽平, 中野治郎, 本田祐一郎, 片岡英樹, 坂本淳哉, 近藤康隆, 沖田 実: 不動期間の違いがラット足関節の不動中ならびに不動解除後の痛みにおよぼす影響 痛覚閾値ならびに疼痛関連行動, 脊髄後角 c-fos 陽性神経細胞の変化から. 理学療法学 37 supplement (2) DVD: 768, 2010
5. 森本陽介, 吉田奈央, 近藤康隆, 片岡英樹, 坂本淳哉, 神津 玲, 中野治郎, 沖田 実: ステロイド筋症ラットに対する温熱負荷の影響. 理学療法学 37 Supplement (2) DVD:835, 2010
6. 沖田 実, 中野治郎, 坂本淳哉, 森本陽介, 濱上陽平: 慢性痛の末梢機構. 理学療法の医学的基礎 14(1): 8, 2010
7. 近藤康隆, 小田太史, 高橋拓哉, 石丸将久, 吉田佳弘, 森本陽介, 片岡英樹, 坂本淳哉, 中野治郎, 沖田 実: 変形性膝関節症患者の人工膝関節全置換術前後における痛み発生部位の特徴. 理学療法の医学的基礎 14(1): 24, 2010
8. 片岡英樹, 吉村俊朗, 中野治郎, 坂本淳哉, 吉田奈央, 沖田 実: 高血糖が不動に伴うラットヒラメ筋線維の廃用性変化におよぼす影響. 理学療法の医学的基礎 14(1): 25, 2010
9. 吉田奈央, 片岡英樹, 坂本淳哉, 森本陽介, 中野治郎, 沖田 実: 温熱負荷と筋収縮運動の併用がラット腓腹筋の廃用性筋萎縮におよぼす影響 筋収縮運動の負荷量に着目して. 理学療法の医学的基礎 14(1): 31, 2010
10. 坂本淳哉, 中野治郎, 片岡英樹, 折口智樹, 吉村俊朗, 沖田 実: 不動に伴うラット関節軟骨基質の変化, ならびに持続的他動運動の影響. 第 42 回日本結合組織学会学術大会・第 57 回マトリックス研究大会合同学術大会抄録集, pp.102, 2010
11. 本田祐一郎, 近藤康隆, 横山真吾, 濱上陽平, 片岡英樹, 坂本淳哉, 中野治郎, 沖田 実: 不動期間の延長に伴うラットヒラメ筋の筋内膜におけるタイプI・III コラーゲンの変化. 第 42 回日本結合組織学会学術大会・第 57 回マトリックス研究大会合同学術大会抄録集, pp.103, 2010
12. 濱上陽平, 中野治郎, 沖田 実: 不動期間の違いがラット足関節の不動ならびに不動解除後の痛みにおよぼす影響. PAIN RESEARCH 25(2): 98, 2010
13. 近藤康隆, 坂本淳哉, 片岡英樹, 沖田 実: セラピューティック・ストレッチングによる組織変化 骨格筋の変化に由来した拘縮の病態に対して. 理学療法 27(8): 973-982, 2010
14. 渋谷美帆子, 片岡英樹, 西川正悟, 岩佐恭平, 山口紗智, 村上正寛, 中川勇樹, 鶴殿紀子, 三村国秀, 濱崎 忍, 吉田奈央, 坂本淳哉, 沖田 実, 山下潤一郎: 大腿骨近位部骨折術後の痛みに関する調査～基本動作と歩行を中心に～. 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会第 17 回研究大会抄録: 1-11-5-4, 2010
15. 江口勝美, 宇佐俊郎, 折口智樹: 【関節リウマチ(第 2 版) 寛解を目指す治療の新時代】 関節リウマチの検査・診断 臨床症状 関節症状. 日本臨床 68 巻増刊号 5 関節リウマチ: 209-214, 2010
16. 江口勝美, 折口智樹, 上谷雅孝: 【関節リウマチの画像診断】 関節リウマチの早期診断のための画像診断が果たす役割 リウマトイド因子, 抗 CCP 抗体を含めた RA 診断. Orthopaedics 23(6): 1-10, 2010
17. 折口智樹: 血管炎症候群. 日本医事新報 4476: 18-1, 2010
18. 折口智樹, 川尻真也, 山崎聡士, 岩本直樹, 有馬和彦, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 植木幸孝, 江口勝美: トシリズマブの関節リウマチ患者のサブスタンス P に対する効果. 第 54 回日本リウマチ学会総会・学術集会・第 19 回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集: 653, 2010
19. 梅原久範, 川野充弘, 高橋裕樹, 山本元久, 松井祥子, 佐伯敬子, 西山 進, 折口智樹, 三森経世, 住田孝之, 正木康史: 厚生労働省「IgG4 関連多臓器リンパ増殖症候群調査研究班」の概要. 第 54 回日本リウマチ学会総会・学術集会・第 19 回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集: 639, 2010
20. 川尻真也, 岩本直樹, 古賀智裕, 岡田寛丈, 有馬和彦, 川上 純, 折口智樹, 江口勝美: 画像 関節リウマチにおける関節超音波によるスコアリングとバイオマーカーとの関連. 第 54 回日本リウマチ学会総会・学術集会・第 19 回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集: 455, 2010
21. 佐伯敬子, 西 慎一, 伊藤朋之, 山崎 肇, 川野充弘, 山本元久, 高橋裕樹, 松井祥子, 中田真司, 折口智樹, 平林 晃, 正木康史, 梅原久範, 菅井 進, 住田孝之, 成田一衛: IgG4 病 IgG4 関連腎実質病変 24 例の検討. 第 54 回日本リウマチ学会総会・学術集会・第 19 回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集: 450, 2010
22. 正木康史, 黒瀬 望, 北川和子, 山本元久, 高橋裕樹, 川野充弘, 佐伯敬子, 松井祥子, 安積 淳, 中田真司, 折口智樹, 西山 進, 坪井洋人, 坪田一男, 江口勝美, 住田孝之, 菅井 進, 梅原久範: IgG4 病 IgG4 関連疾患診断における IgG4 値, IgG4/IgG 比の検討. 第 54 回日本リウマチ学会総会・学術集会・第 19 回国際リウマチシンポジウムプログラム・抄録集: 449, 2010
23. 川尻真也, 岩本直樹, 古賀智裕, 有馬和彦, 玉井慎美, 山崎聡士, 中村英樹, 折口智樹, 川上 純, 江口勝美: 関節リウマチにおける関節超音波によるスコアリングとバイオマーカーとの関連. 日本内科学会雑誌 99(Suppl.):201, 2010
24. 小菅浩史, 小篠史郎, 野村恵子, 吉村俊朗, 本村政勝, 桝中征哉, 木村重美: 抗 AChR 抗体陽性を示した先天性ミオパチーの 1 歳 11 ヶ月男児例. 日本小児科学会雑誌 114 (3): 596, 2010
25. 中嶋秀樹, 立石洋平, 中田るか, 柘田智子, 六倉和生, 坂井無二子, 徳田昌紘, 福田卓, 佐藤克也, 辻野彰, 本村政勝, 中村龍文, 吉村俊朗, 江口勝美: 大動脈弁ストランドを伴った脳梗塞の 1 例. 臨床神経学 50(5):353,2010
26. 中田るか, 中嶋秀樹, 柘田智子, 六倉和生, 坂井無二子, 徳田昌紘, 立石洋平, 福田卓, 中村英樹, 辻野彰, 本村政

- 勝, 中村龍文, 吉村俊朗, 林徳真吉, 高橋利幸, 江口勝美: HAM との鑑別が困難だったアクアポリン 4 抗体陽性脊髄炎の 1 例. 臨床神経学 50(7):525,2010
27. 本村政勝, 吉村俊朗: 【シナプス 形態・機能・病態】 シナプスの病態 重症筋無力症(解説/特集). Clinical Neuroscience 28(8):931-933,2010
 28. 中嶋秀樹, 中田るか, 栢田智子, 立石洋平, 六倉和生, 徳田昌紘, 福田卓, 佐藤克也, 辻野彰, 本村政勝, 中村龍文, 吉村俊朗, 江口勝美: 脊髄神経に著明なびまん性肥厚を認めた慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー(CIDP)の 1 例 臨床神経学 50(9):674,2010
 29. 磯本恵理子(日本赤十字社長崎原爆病院 内科), 渋谷亜矢子, 木下郁夫, 大坪まゆみ, 本村政勝, 吉村俊朗: 痙性対麻痺の精査中に偶然発見された筋サルコイドーシスの一例. 臨床神経学 50(9):680,2010
 30. 中田るか(長崎大学病院 第一内科), 福田卓, 中嶋秀樹, 栢田智子, 徳田昌紘, 立石洋平, 辻野彰, 本村政勝, 安東恒史, 宮崎泰司, 中村龍文, 吉村俊朗, 柴山弘司: 原因不明の脳脊髄炎が先行した成人 T 細胞白血病(ATL)の 1 例. 臨床神経学 50(9):682,2010

B-c

1. 沖田 実, 松原貴子, 森岡 周(編), 千住秀明(監): 機能障害科学入門. 九州神稜文庫, 福岡, 2010
2. 江口勝美, 折口智樹: 関節リウマチ. (三森経世(編): リウマチ・膠原病内科クリニカルスタンダード, 文光堂, 東京, pp.60-73 所収) 2010
3. 折口智樹, 江口勝美: 副作用 いかに対応すべきか(消化管、心血管系、腎など). (NSAIDs の選び方・使い方ハンドブック, 羊土社, 東京, pp.39-49 所収)2010

B-d

1. 山口智美, 井上晶代, 折口智樹, 阿比留教生, 風浦吉江, 松尾直美: A 大学病院の糖尿病脚専門診療科に潜在する糖尿病予備群像. 保健学研究 22(1): 25-32, 2010
2. 折口智樹: 【総括研究報告書】 高 VEGF 血症を特徴とする RS3PE 症候群関連新疾患概念の確立と普及. 平成 21 年度総括・分担研究報告書(平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金), pp.3-9, 2010
3. 折口智樹: 【分担研究報告書】 RS3PE 症候群患者数算定に関する研究. 平成 21 年度総括・分担研究報告書(平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金), pp.18-23, 2010
4. 吉村俊朗: 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発に関する研究 平成 21~23 年度総合研究報告書 平成 21 年度総括・分担研究報告書(平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金):p.49-58, 2010

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	5	0	1	31

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
沖田 実・教授	専門領域研究部基礎理学療法研究部会長	社団法人日本理学療法士協会
沖田 実・教授	学術誌「理学療法学」査読委員	社団法人日本理学療法士協会
沖田 実・教授	学術誌「理学療法の医学的基礎」編集同人	理学療法の医学的基礎研究会
沖田 実・教授	評議員	日本運動器疼痛研究会
沖田 実・教授	学術誌「理学療法探求」編集同人	長崎大学理学療法学同門会
折口智樹・教授	評議員	日本リウマチ学会
折口智樹・教授	評議員	日本臨床免疫学会
折口智樹・教授	運営委員	九州リウマチ学会
折口智樹・教授	世話人	西九州リウマチ市民講座
吉村俊朗・教授	理事	長崎県難病連絡協議会
吉村俊朗・教授	委員	長崎県油症対策委員会
吉村俊朗・教授	委員	長崎県特定疾患対策協議会

吉村俊朗・教授	評議員	日本神経治療学会
吉村俊朗・教授	評議員	日本末梢神経研究会
吉村俊朗・教授	評議員	日本神経学会
吉村俊朗・教授	世話人	日本神経学会九州地方会

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
沖田 実・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) 関節周囲組織の網羅解析から拘縮の発生メカニズムとリハビリテーションの効果を探る
沖田 実・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 変形性膝関節症に対する運動療法の生物学的効果とバイオマーカーの開発に関する研究
沖田 実・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 関節拘縮による関節軟骨変性メカニズムの解明およびリハビリテーションの効果
沖田 実・教授	長崎大学医学部保健学科・特別研究支援経費	代表	不活動が原因で発生する慢性痛の病態解明に関する調査・実験的研究
沖田 実・教授	株式会社アルケア	共同研究	ギプス装着中に生じる廃用性筋萎縮、筋性拘縮等に対する電気刺激の効果検証
折口智樹・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 関節拘縮による関節軟骨変性メカニズムの解明およびリハビリテーションの効果
折口智樹・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 関節周囲組織の網羅解析から拘縮の発生メカニズムとリハビリテーションの効果を探る
吉村俊朗・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) アセチルコリンレセプター抗体陰性、抗MuSK抗体陽性重症筋無力症患者の病態
吉村俊朗・教授	厚生労働省	分担	厚生科学研究費補助金 カネミ油症検診者の血清CKおよびアルドラーゼ値の経年変化と内科合併症について

その他

非常勤講師等

氏名・職	職名	関係機関名
沖田 実・教授	非常勤講師	日本福祉大学通信教育部
沖田 実・教授	特別講義講師	星城大学リハビリテーション学院
沖田 実・教授	長崎県介護支援専門員更新研修会講師	SEO(株)福祉サービス評価機構